

## 英米言語研究Ⅱ

2 units (selection) 3rd-year(1st semester)

Yoshio Motoki . , Hitoko Yamada · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** イギリス史と関連させながら古期・中期英語を中心に現代までの英語の歴史を通観する。

**Outline)** 英語史研究

**Keyword)** *English linguistics*, ノルマン・コンケスト, ラテン語, 語源

**Relational Lecture)** “英米言語研究Ⅰ”(0.5), “英米言語研究Ⅲ”(0.5), “英米言語研究Ⅳ”(0.5)

**Goal)**

1. 英語は古いところでは現代のドイツ語と同じような語尾変化をし、時代が下ると共に次第に語尾が消失し、今日のような語順を大切にする言語となった。また語彙においては、全体として、比較的純粋なゲルマン語彙から、ノルマン・コンケストを契機にロマンス語彙を増大してゆき、今日に見るような語彙の豊富さを獲得していった。
2. 以上のような英語の歴史について理解を深める。

**Schedule)** 英語史の概説に重点を置く。

**Evaluation Criteria)** レポート及び期末試験。

**Re-evaluation)** 行なう。

**Textbook)**

- ◇ Sweet's Anglo-Saxon Primer 千城
- ◇ 松平千秋・国原吉之助共著 新ラテン文法 東洋出版

**Reference)** Albert C. Baugh: A History of the English Language

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218381>

**Contact)**

- ⇒ Motoki . (Office Hour: 金曜日 14:30~ 15:30)
- ⇒ Yamada (hitokoy@yahoo.co.jp) MAIL (Office Hour: 木曜日 10:20~11:20)